

しょうがくせい 小学生の みなさんへ!

がくねんべつ ほん 学年別おすすめの**本**

あたらしい学年、クラスが始まりました。

みなさんは年々少しずつ成長しています。

図書館では、それぞれの成長に合った本をおすすめしています。

その一部を紹介しますので、気になった本をぜひ読んでみてください。

どの本もおもしろくておすすめですよ!

た
ん
た
新
聞

たんた新聞編集部
〒270-1147
我孫子市若松26-4
我孫子市民図書館
TEL.04-7184-1110

あびこしせいしこう しゅうねん
我孫子市市政施行50周年



ちなみに…

あびこし市も、ずっと年を重ねてきました。

そして今年で、50歳になります!

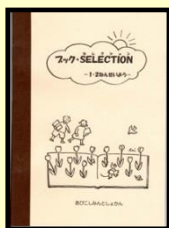


しんぶん
この新聞のほかに、

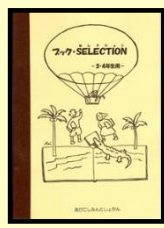
がくねんべつ
学年別ブックリストで、おすすめ
の本を、たくさん紹介しています。

ブックリストは

- としょかん
• 図書館でもらえます。
- 図書館のホームページで見られます。



1・2ねんせいよう



3・4年生用



5・6年生用

こうさく
おうちでできる実験・工作などの本を
まとめて置いています。

ほんかん
アピスタ本館

こほくだいぶんかん
湖北台分館

ふさぶんかん
布佐分館

の

じどうしょ
児童書コーナーをみてみてね。



わからないときは
図書館の人に
きいてみよう!

2 ねんせいにおすすめ

「ねずみとおうさま」

コロマ神父／ぶん
石井 桃子／やく 土方 重巳／え
岩波書店 (EA七)



スペインに、子どもの王さまがいました。子どもの齒がぬけた王さまは、「その齒を、まくらのそばにおいておくと、ねむっている間にペレスというねずみがやってくる」というふしぎなはなしをききます。よなかにめをさました王さまは、ペレスねずみとまちへでかけることになりました。



「おひさまはらっぱ」

中川 李枝子／さく 山脇 百合子／え
福音館書店 (1-ナ)

おひさまはらっぱはみんなが大好きなこうえんです。ゆうじは、うさぎのギックといっしょにジャングルジムから空へとび立ち大ぼうけん。三つ子のこぶたは、朝ごはんのサンドイッチをもってお父さんお母さんとピクニックです。みじかいおはなしが9つ入っています。

「**番ねずみのヤカちゃん**」 (福音館書店 2-ウ)

「**うなぎのうーちゃんだいぼうけん**」 (福音館書店 EMス)

「**ようせいのゆりかご**」 (岩波書店 2-エ)

「**はじめてのキャンプ**」 (福音館書店 1-ハ)

「**なぞなぞのすきな女の子**」 (学研 1-マ)

「**世界のむかしばなし**」 (のら書店 2-セ、M2-セ)

「**スーホの白い馬**」 (福音館書店 EAア、MEAア)

「**こぶたのポインセチア**」 (岩崎書店 2-ボ)

1 ねんせいにおすすめ

「**うさぎのみみはなぜながい**」 (福音館書店 EAキ、MEAキ)
「**かにむかし**」 (岩波書店 EAシ、MEAシ)
「**こいぬがうまれるよ**」 (福音館書店 EMカ)
「**ねえさんといもうと**」 (福音館書店 EAア)
「**ピーターのおいみち**」 (講談社 EAク)
「**ふしぎなたいこ**」 (岩波書店 EAシ、MEAシ)
「**どれみふあけろけろ**」 (あかね書房 1-ヒ)
「**たからものくらべ**」 (福音館書店 1-ス)

「ノンビリすいぞくかん」

長 新太／さく
理論社 (1-チ)



すいぞくかんをちょっとぬけだし、あちこちでかけたさかなたち。ヒラメはやきゅうじょうへいって、しあいをみたんだって。カワハギはジェットコースターにのったんだって。ほかにもさかなたちのへんでこなおはなしが17こは入っています。



「どろんここぶた」

アーノルド・ローベル／作
岸田 衿子／訳
文化出版局 (EAロ)

あるひ、こぶたがうちからにげだしました。すきだったやわらかーいどろんこを、かたづけられてしまったのです。こぶたはどろんこをさがしまわります。そして、どろんこまちがえてちがうものにあしをつっこみ、たいへんなことになってしまいます。

4年生におすすめ



「ながいながい ペンギンの話」

いぬい とみこ／作
山田 三郎／絵 理論社(1-イ)

南極のゆきあらしの中、お父さんペンギンとお母さんペンギン

は、寒さにたえてかわりばんこに卵をあたためました。そして生まれたのがルルとキキの兄弟です。ねずみ色のぼやぼやのひよっこペンギンの兄弟は、くいしんぼうでこわいもの知らず。にんげんはこわいもの、ということも知らなかったのです。

「魔女学校の一年生

ジル・マーフィ／作・絵
松川 真弓／訳
評論社(2-マ)



ミルドレッドは、いつもゴタゴタを引き起こす問題児と思われていました。ミルドレッド自身は一生懸命で、先生を困らせようなどという気はなかったのですが、そしてついに先生の面目をまるつぶしにする大事件が起こります。どうしたらよいか分からなくなったミルドレッドは逃げだしますが…。

シリーズ全4巻。

- 「くしゃやくしゃみ天のめぐみ」(福音館書店) 1-マ
- 「くまのパディントン」(福音館書店) 2-ポ
- 「空とぶ家」(学研) 2-ホ
- 「フクロウ探偵30番めの事件」(童話館出版) 2-マ
- 「みどりのゆび」(岩波書店) 2-ド
- 「ゆうかなな女の子ラモーナ」(学研) 2-ク
- 「ロバのおうじ」(ほるぷ出版) EAク、MEAク
- 「小さなスプーンおばさん」(学研プラス) 2-フ

3年生におすすめ

- 「おもしろ荘のリサベット」(岩波書店) 2-リ
- 「オンネリとアンネリのおうち」(ブチ格拉パブリッシング) 2-ク
- 「かぎのない箱」(岩波書店) 2-オ、M2-オ
- 「黒い島のひみつ」(福音館書店) EAエ
- 「クワガタクワジ物語」(偕成社) 1-ナ
- 「こちらマガーク探偵団」(あかね書房) 2-ヒ
- 「しばてん」(偕成社) EAタ
- 「ミリー・モリー・マンデーのおはなし」(福音館書店) 2-ブ

「ちびドラゴンのおくりもの」

イリーナ・コルシュノフ／作
酒寄 進一／訳 伊東 寛／絵
国土社(2-コ)



ハンノーは学校がきらいです。いじわるなルートビヒがいるし、勉強も運動もうまくできません。

ある日、ハンノーは「ドラゴンの学校がいやで、にげ出してきた」というちびドラゴンと出会います。「できない」とばかり言っていたハンノーでしたが、うたがすきなちびドラゴンと楽しくすごすうちに少しずつかわっていきます。



「ジェニーと キャットクラブ」

黒ネコジェニーのおはなし 1
エスター・アベリル／作・絵
松岡 享子、張替 恵子／共訳
福音館書店(2-ア)

黒ネコのジェニーはある晩、キャット・クラブという、ネコのあつまりを見にいきました。そこではそれぞれが特技を生かして、うたったり、おどったりしています。ジェニーは「あたしはなんにもできない」とはずかしくなって帰ってしまいました。ところが、ジェニーも自分にできることを思いついたのです。シリーズ全3巻。

6年生におすすめ

「点子ちゃんとアントン」

エーリヒ・ケストナー／作
池田 香代子／訳
岩波書店(2-ケ)



「点子」というのは、本当にまだおチビさんだったときにつけられたあだ名です。点子ちゃんは、料理もできて親孝行のアントンを尊敬し、だれになんとわれようと「一番の親友で、りっぱな人」と言いました。そんな2人には秘密の仕事があったのです。



「銀河鉄道の夜」

宮沢 賢治／[著]
春日部 たすく／画
岩波書店(1-ミ)

お祭りの夜、ジョバンニは丘にかけ上り、草原にねころびました。同じクラスの連中からかわれ、その中に、味方だと思っていたカムパネルラがいたのでたまらなくなりました。いつの間にか銀河を走る列車に乗っていたジョバンニ。そこにはカムパネルラもいて「お母さんはぼくを許してくれるだろうか」とよく分からないことを言うのでした。

「モーツアルト」

(リブリオ出版 289モ)

「床下の小人たち」

(岩波書店 2-ノ)

「ミオよ、わたしのミオ」

(岩波書店 2-リ)

「人間だって空を飛べる」

(福音館書店 2-ニ、M2-ニ)

「二分間の冒険」

(偕成社 1-オ)

「はなはなみんなみ物語」

(リブリオ出版 1-ワ)

「死の川とたたかう」

(偕成社 493)

「子どもべやのおぼけ」

(徳間書店 2-ゼ)

5年生におすすめ

「黒いお姫さま」

(福音館書店 2-ク、M2-ク)

「太陽の東月の西」

(岩波書店 2-タ、M2-タ)

「魔女の宅急便」

(福音館書店 1-カ)

「ヘンリーくんとアブラー」

(学研 2-ク)

「ふたりのロツテ」

(岩波書店 2-ケ)

「たのしいムーミン一家」

(講談社 2-ヤ)

「ふたのロビンソンのおはなし」

(福音館書店 BEAポ)

「魔法使いのチョコレート・ケーキ」

(福音館書店 2-マ)

「マチルダはちいさな大天才」

ロアルド・ダール／作
宮下 嶺夫／訳
クエンティン・ブレイク／絵
評論社(2-ダ)[旧版]



マチルダは本好きな5歳の女の子です。図書館の子どもの本をすべて読んでしまうほどですが、両親はマチルダをきらってやっかい者扱い。しかしマチルダも負けていません。鋭い頭脳で完璧にやり返します。やがて小学校に入学して初めて、「マチルダは天才です。」とってくれる人に出会います。



「キャプテンはつらいぜ」

後藤 竜二／作 杉浦 範茂／絵
講談社(1-ゴ)

小学校5年生の夏、ぼくは少年野球チームの新キャプテンをやることになった。6年生が突然やめてしまったからだ。最初は頑張ろうと張り切ったけれど、どうも上手くない。みんなに「ピッチャーをさがしてこい」なんて無茶なことを言われるし。気が進まないけれど、あいつをチームにさそわなくちゃ。